

広報

ふじ

新総合計画
特集号

発行・富士市役所
富士市永田61-1
電話<0545>51-0123

編集・
企画調整部広報広聴課

53.7.15発行



「生産と生活が調和する

産業文化都市」をめざして

富士市新総合計画(草案)まとまる



みんなの手で

新総合計画(草案)

市は、快適で住みよい都市像の実現をめざして、昭和46年に定めた「第2次富士市総合計画」に基づいて“まちづくり”を具体的にすすめてきました。

しかしながら、昭和48年の石油危機を契機に、これまでの経済の流れが一変し、物価の高騰、雇用不安など多くの問題が表面化してきました。

国では、地域の特性を生かしつつ、人間と自然との調和のとれた健康で文化的な人間居住のための総合的環境を計画的に整備するため、第3次全国総合開発計画を新たに策定し新時代にそった地域の政策がすすめられようとしています。

一方、当市においても昭和60年度を目標に策定した第2次富士市総合計画の基本条件としての人口や土地利用についても計画と現況との間に差異が生じてきております。

このような情勢変化により市としても、今後すすむべき方向を見直しながら長期的、総合的な立場から新しい富士市を創造するための指標としてまとめたのが今回の新総合計画草案であります。

この草案は、「生産と生活が調和する産業文化都市」をめざす都市像とし、施策の大綱として市民のいのちと健康に対する不安を解消し、市民に快適で豊かな暮らしを約束するとともに、市民文化の振興や教育環境の充実、活力ある産業の振興等をはかるために必要とされる最低の水準(シビル・ミニマム)を定めたものであります。



新しいまちを

をお知らせします

この計画は真に市民による市民のための計画でなければなりません。そこで正式の審議の場である“富士市総合開発審議会”の諮問に合わせて、先に広報ふじNo.252号でお知らせしたとおり、計画草案のあらすじを市民に広く公開し、意見を求めていくものです。

私たちの市をどのようにつくっていくか、これは20万市民全員の関心事であり、またひとりひとりの課題でもあります。いろいろな階層・職業・年齢、それぞれの立場の人々が「新しい富士市」をつくってゆくためには、市全体の方向や構想を理解していくことが大切です。

この特集号は、新総合計画草案を市民のみなさんに知っていただき、その実現の方法等について話しあっていただく資料として、そのあらましをお知らせするものです。

このように、この新総合計画草案は、市民参加と共に市総合開発審議会で審議され、ことし中に市長に答申していただく予定です。その後、市議会の協議をへて正式なものにし、市民のみなさんに改めて新計画の内容をお知らせいたします。

市民のみなさんの積極的な参加を期待しておりますので、この計画草案の内容について、ご質問又はご意見等がありましたら、どうかお寄せください。

連絡先は、市企画調整部企画課

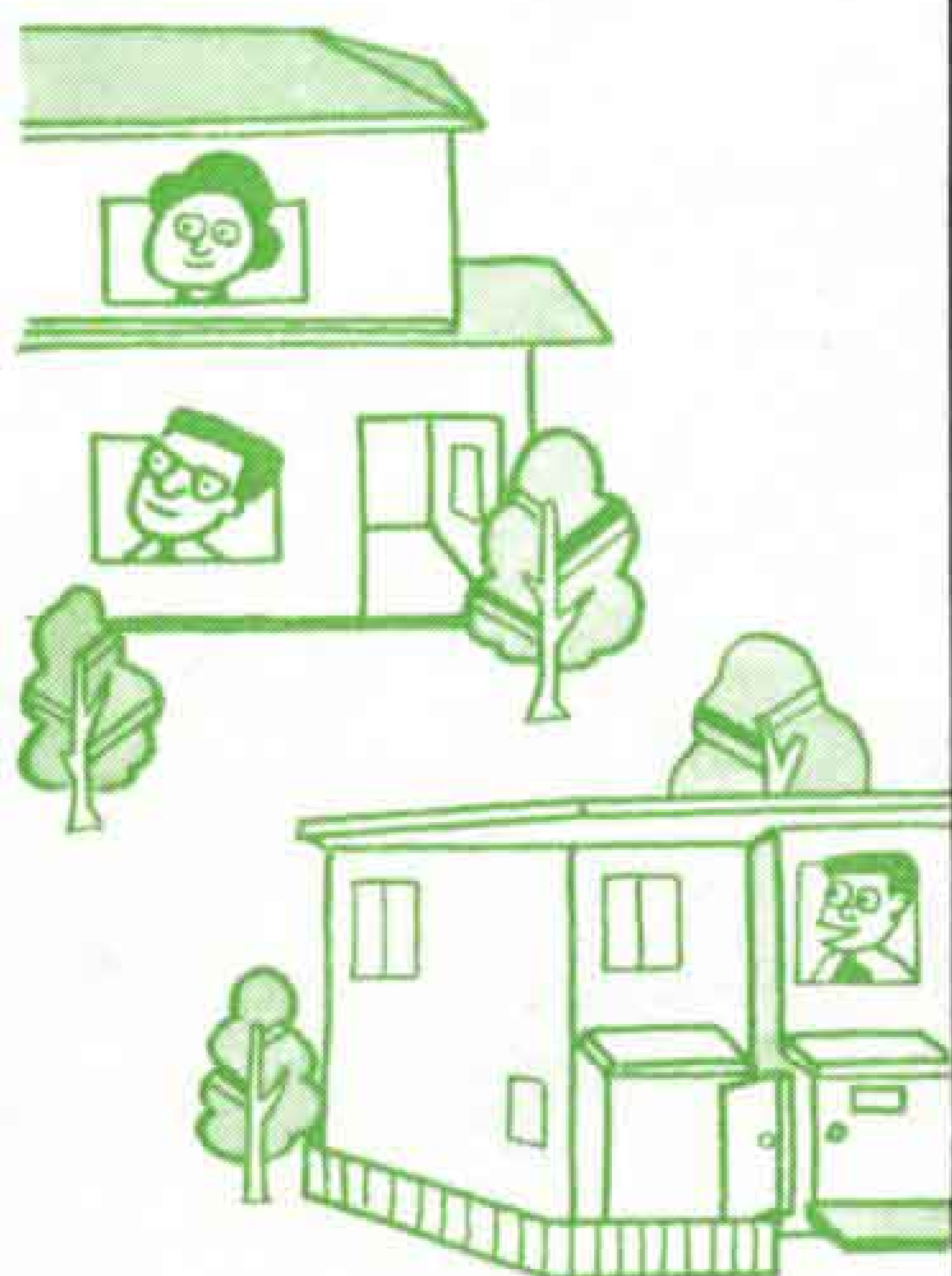
(電話51-0123・内線522)です。

望ましい都市の姿

よりゆとりある 安定したまちづくりへ



都市づくり の考え方



富士市は、富士愛鷹山麓などの豊かな自然資源と、京浜地域に隣接するという地理的な条件に恵まれ地場産業である製紙を中心に県内有数の生産都市としてめざましい発展を続けてきました。しかし、そこには先人の多くの労苦がかくされており、今日の富士市は営々として積み重ねられたこれらの多くの人々の努力によって築きあげられたものであります。わたしたちは、この歴史のうえに立ち、新たな視点から現在の富士市を“よりゆとりのある安定した都市”として発展させ、次の世代に継承するため、ここに富士市のあるべき姿とこれを達成するために必要な施策のあらましをつくりました。

以下、順を追って説明します。

すべての市民が豊かで 文化的な生活が送れるように

都市づくりの究極の目標は、人間尊重の理念に立ち、すべての市民が豊かで文化的な生活を享受できる福祉社会を実現することにあります。しかし、現代は都市市民にとってきびしい時代であり、災害、自然環境の破かいや公害の発生、生活環境の問題の中で本市は、都市づくりの理念を「快適で豊かな人間環境の創造」とし、次のことを基本姿勢として健康で文化的な生活をいとなめる個性と魅力あるふるさとづくりをすすめてまいります。

● 魅力ある都市とするには……

すべての市民を公害、交通禍、災害から守り、医療・住宅・下水道・公害・廃棄物処理さらには、社会的に弱い立場にある人々の防衛、教育や文化等市民の生活条件をより充実させすべての市民に、安全・健康・快適・能率的な生活環境を保障することを最優先します。

● 自然や緑を守るためには……

自然や緑は、人間生活にとって欠くことのできないものです。自然と緑の宝庫である富士愛鷹山麓は、市民にとってかけがえのない財産であると同時に、何ものにも優る富士市のシンボルであり又ほこりであります。したがって、この豊かな美しい自然や緑を市民全体の責任で守り、次の世代に正しく受けついでいけるよう努力しなければなりません。

● 個性豊かな都市とするには……

都市は、市民全体のものであり市民一人一人の責任と協力にもとづく連帯感や郷土愛が生れてこそ、創造できるものであります。本市では、それにこたえられるよう民主的な市政運営をはかります。

めざす4つの都市像

「生産と生活の調和する産業文化都市」をめざして次の4つの都市像の実現をはかります。

- (1) 富士、愛鷹山麓の自然や生活と
環境を守る人間環境
都市



- (2) こどもや老人を大切に
する豊かさとやすらぎのある
福祉都市

- (3) 創造性豊かな人づくりと香り高い
文化を育てる教育・文化都市



- (4) だれもが希望をもって
働くことのできる活力ある生産都市

市の役割

富士市は、首都圏に近いうえ、東名高速道路をはじめとする交通網の整備により時間的な距離が縮少し、社会・経済・文化等いろいろな面で首都圏からの影響を強く受けています。

一方、東京等がかかえる巨大都市の過密問題はますます大きくなり、今後も人口、産業等の地方への分散がすすむことが予想される中で、本市が果さなければならない役割として次のことを正しく認識し、これを都市像の実現に向けていかすことが必要であります。

(その1)

大学等の高次教育機能の 受け入れを行ないます。

国では、今後の地域政策の柱として地方振興型の「人口定住構想」を提唱し、首都機能の分散を主要課題の一つにあげています。

首都圏から分散される機能に対してその受け入れを求められることも考えられますので、それには計画的な選択が必要であり、とりわけ大学等の高次教育機能の受け入れは、富士地区広域生活圏における中心都市として極めて意義のある役割です。

(その2)

雇用の場を拡大し、 生産中枢都市としての役割を果します。

本市は、第2次産業にその特色をもち、工業の進展を基として都市化がすすめられ、今日まで市民はもとより近隣市町村に対しても雇用の場を拡大し、広域都市圏における生産中枢都市として重要な役割を果してきました。今後も一層この役割が、定住圏構想推進の担い手として要請されてくると思います。

(その3)

富士山麓の豊かな自然環境を守り 次の世代に正しく継承します。

日本の象徴である富士山をゴルフ場、分譲別荘、レジャー施設などの乱開発から守り、富士山麓のすぐれた自然環境を文化的、社会的な郷土の資産として、次の世代に正しく継承し人間環境都市をめざします。

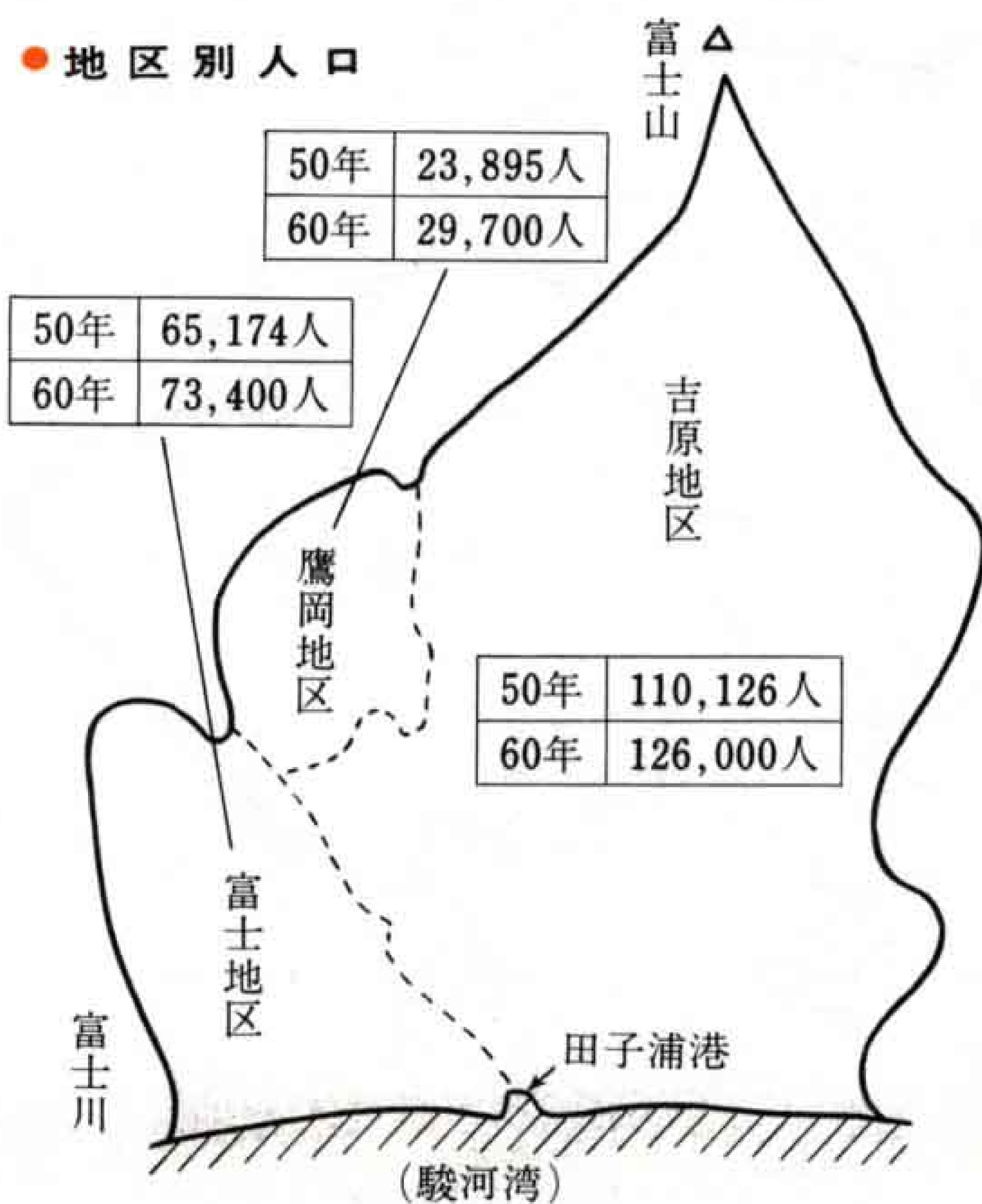


希望をもって「住み」「働き」「憩う」 ことのできる活力あるまちに

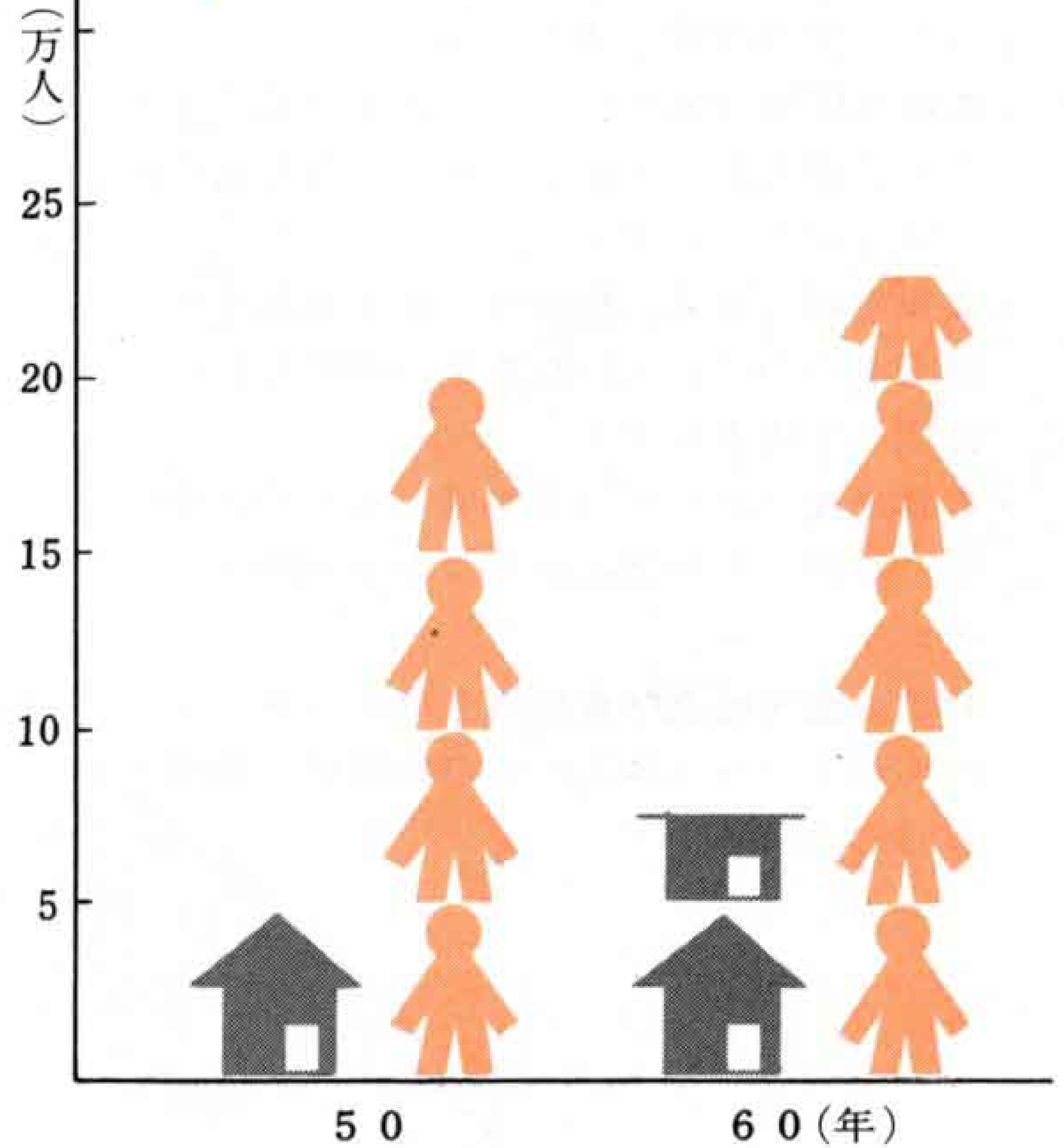
● 人 口

本市の人口は、生産都市としての性格上県下の都市でも有数の高い人口増加率を示してきましたが、近年の増加率は経済状況の悪化や環境問題の制約等も加わり鈍化の傾向にあります。人口規模の想定にあたっては、これまでの人口の都市集中化がもたらしてきたへい害を考慮し、その規模は適正規模の人口に止めるべきであるという立場をとり、ゆるやかな人口の増加をめざしつつ、昭和60年における人口を 229,100人と想定します。

● 地区別人口



● 人口と世帯数



● 人口と世帯数

区 分	50年 (国調)	60年
人 口	199,195 人	229,100 人
世 帯 数	51,510 世帯	68,730 世帯
1世帯当り人口	3.8 人	3.2 人

● 人口の年齢構造





区 分	50年 (国調)		60年	
	人 口	割 合	人 口	割 合
0~14才	54,281 人	27.3 %	55,110 人	24.1 %
15~64才	133,640	67.1	156,980	68.5
65才以上	11,274	5.6	17,010	7.4
計	199,195	100.0	229,100	100.0

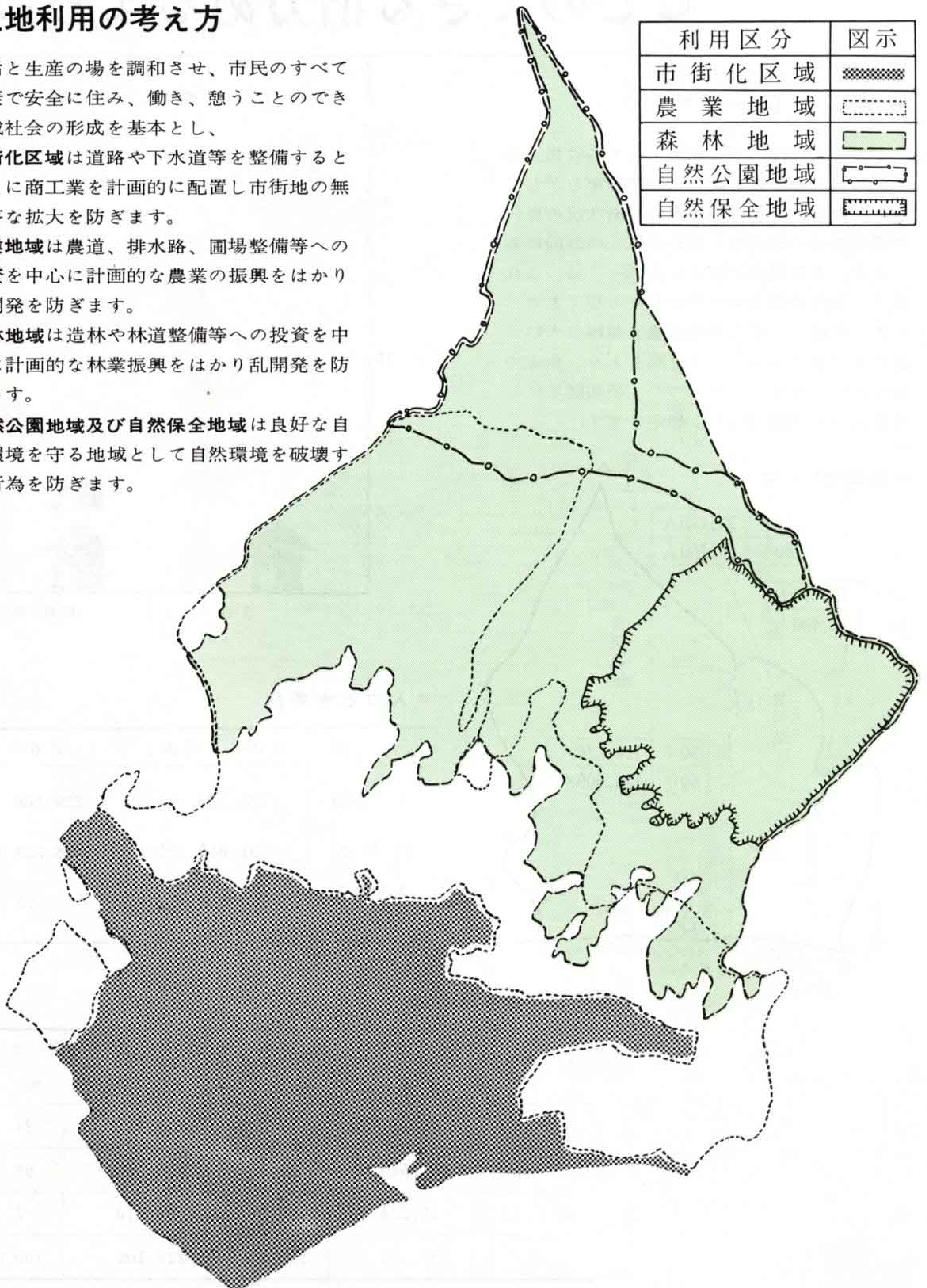
自然と調和しながら土地利用を…

● 土地利用の考え方

生活と生産の場を調和させ、市民のすべてが健康で安全に住み、働き、憩うことのできる地域社会の形成を基本とし、

- **市街化区域**は道路や下水道等を整備するとともに商工業を計画的に配置し市街地の無秩序な拡大を防ぎます。
- **農業地域**は農道、排水路、圃場整備等への投資を中心に計画的な農業の振興をはかり乱開発を防ぎます。
- **森林地域**は造林や林道整備等への投資を中心に計画的な林業振興をはかり乱開発を防ぎます。
- **自然公園地域及び自然保全地域**は良好な自然環境を守る地域として自然環境を破壊する行為を防ぎます。

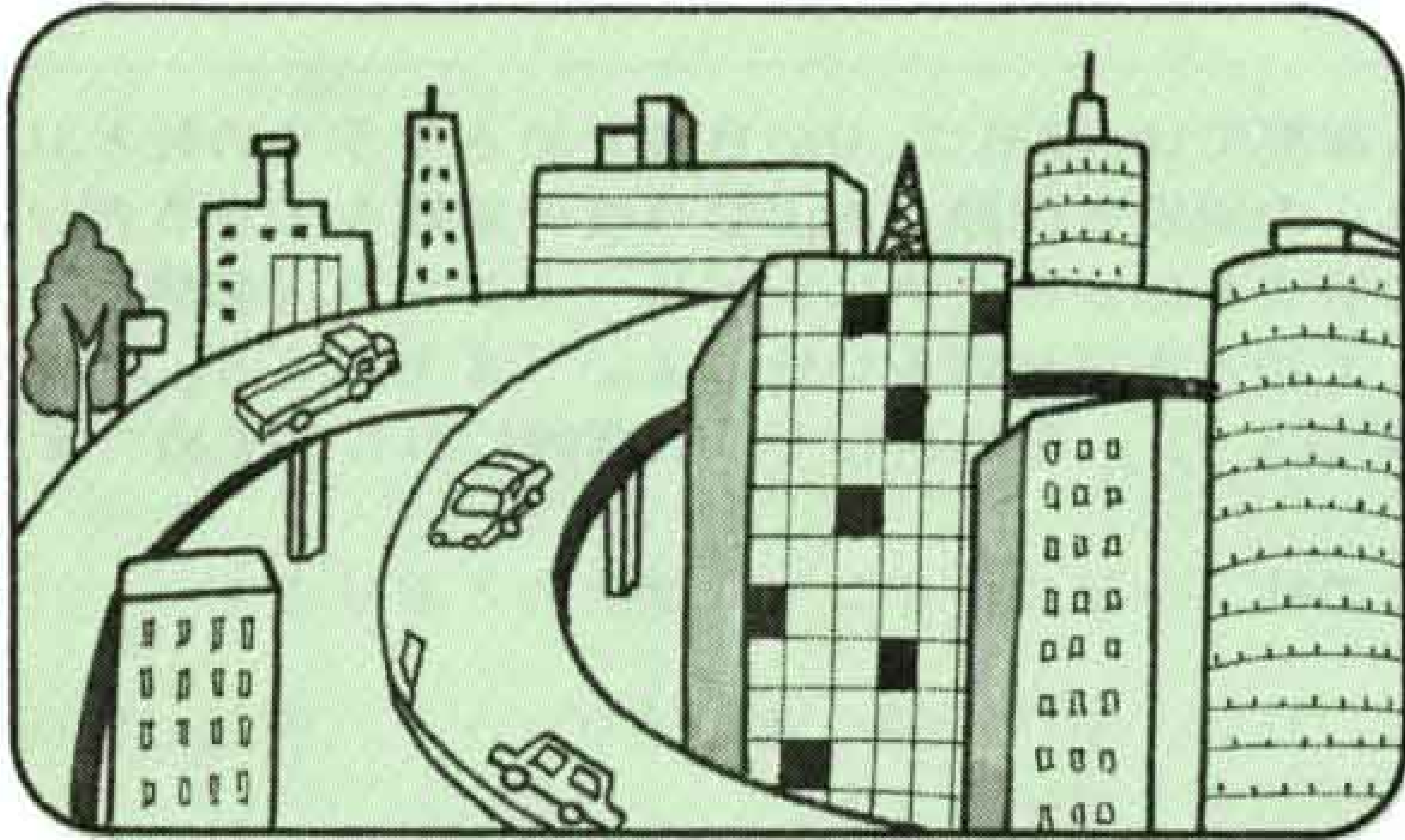
利用区分	図示
市街化区域	
農業地域	
森林地域	
自然公園地域	
自然保全地域	



● 土地利用

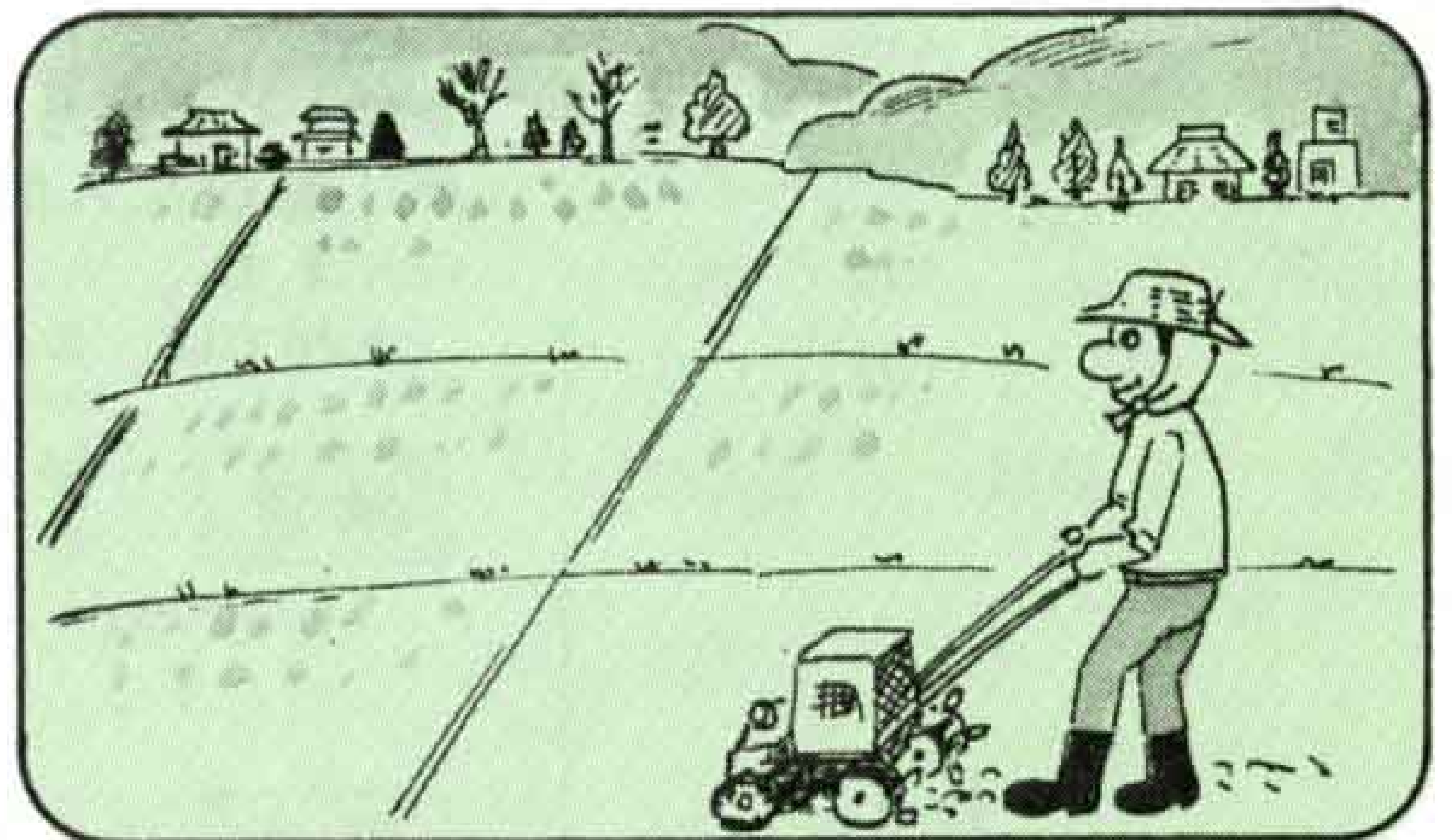
土地は人間生活のすべての活動の基盤であり、利用のねらいは“生産と生活の場”を調和させ市民のすべてがそこに健康であり、働き、憩うことのできる地域社会を形成することにあります。

そこで、本市の自然的条件や地域の特性をいかしながら、次のような地域ごとの整備方向にそって、調和のとれた土地利用をはかります。

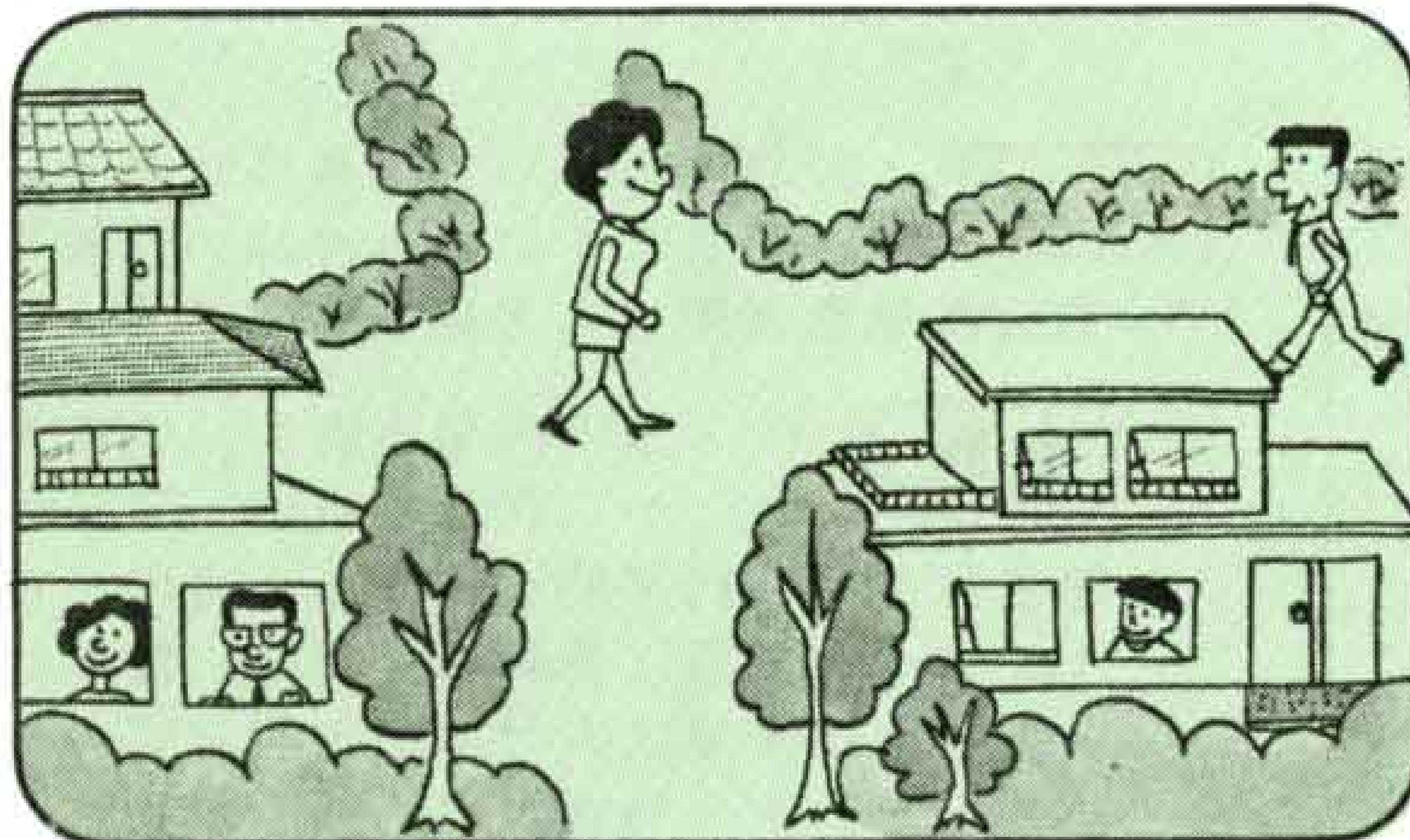


① 岩本山と浮島の水田地帯を除くおおむね標高150メートル以下の地域については、**都市地域**として整備充実します。

② 浮島の水田地帯や岩本山、富士、愛鷹山麓の畑地地帯は水稻、野菜、果樹、園芸等地区の特性に応じ、**農業地域**として整備します。

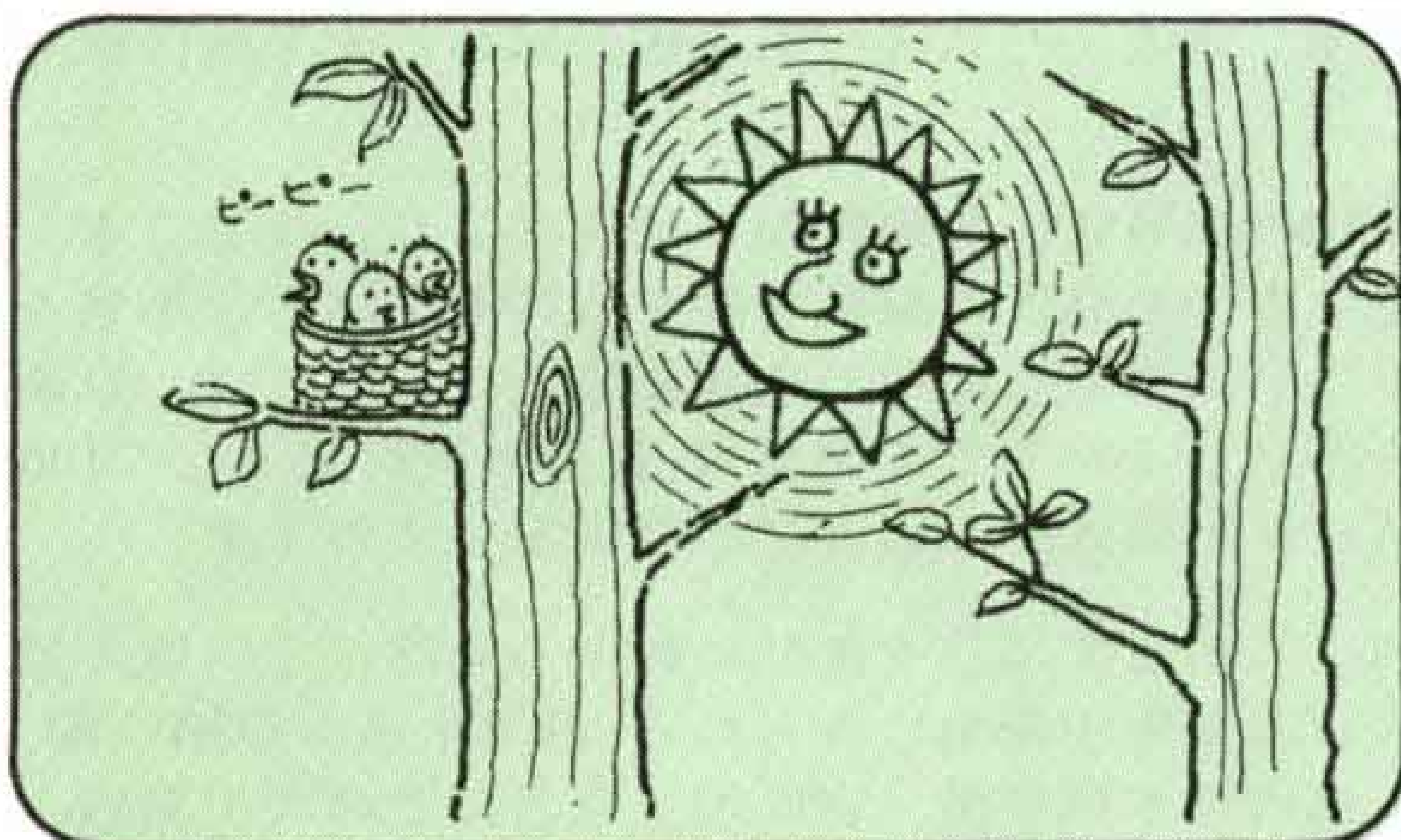


③ 吉原の市街地や富士駅周辺は、**商業業務用地**域として高度利用をすすめ、また田子の浦港背後地を中心にこれに連なる国道1号、ならびに東海道沿線と鷹岡地区の身延線沿い、それに浮島工業団

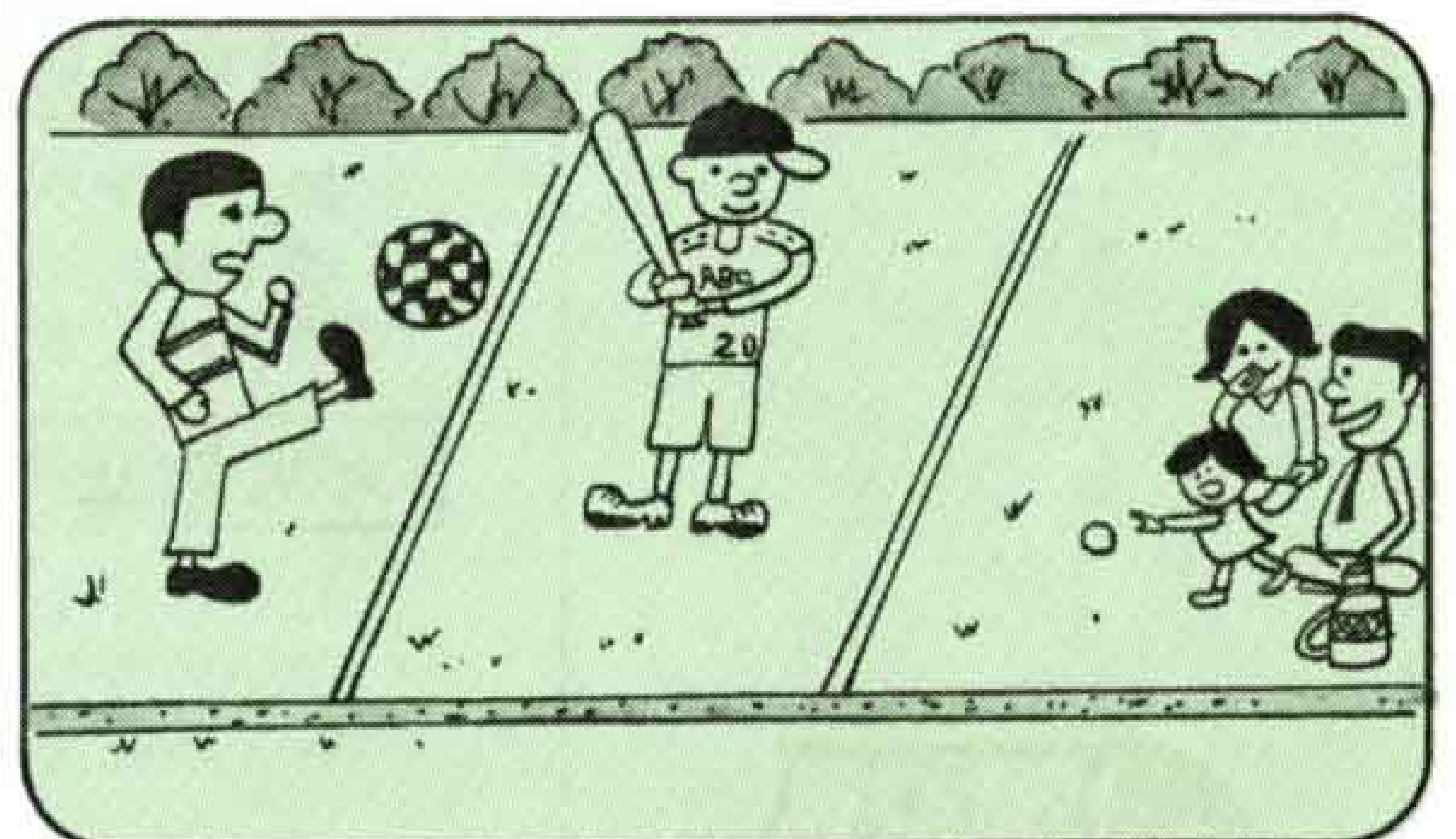


地は、製紙、機械、化学等を中心とする**工業地帯**として、秩序ある利用をはかります。

住宅地域は従来の市街地とともに、緑地環境を保全しながら良好な住宅の形成をすすめます。



④ 富士、愛鷹山麓の**森林地帯**は、森林を育成し、治山治水にあわせて自然環境の保全に努め、公益的機能の維持をはかります。



⑤ **富士箱根伊豆国立公園地域**である富士山頂から標高概ね1,000メートルに至る区域と、自然保全地区である愛鷹山の標高おおむね500メートル以上の区域を、自然環境の保全を前提に適正な利用をはかります。

なお、富士川の河川敷の空地は、スポーツ・レクリエーションの場所として整備します。

都市づくりの目標

5つの柱と37課題(シビル・ミニマム)の実現へ 60年までに総事業費は1234億900万円

シビル・ミニマムとは…

市民が快適で豊かな暮らしをするために市が最低限、これだけはどうしても実施しなければならない「事業量」のことです。

いのちと健康を
守るために……



こんどの新総合計画草案では、都市づくりの目標とめざす5つの柱と37の課題をかけた、これらの現況と問題点および今後の課題をできるだけくわしく分析し、この解決をはかるためにシビル・ミニマム(事業量)を設定しました。そして20万市民が明るい住みよい「まちづくり」のため「豊かな人間環境づくり」をめざして、積極的におしすすめてまいります。

それでは、この5つの柱、シビル・ミニマムは次のとおりです。

保健

- ・健康診断、検診、予防接種の徹底化をはかり、病気の早期発見、早期治療をすすめます。
- ・富士、富士宮の伝染病舎と統合し、新たに伝染病隔離病舎30床を建設します。

医療

- ・市立富士中央病院の病床200床を増やすとともに、高度な医療機器を整備し、地域の基幹病院としての機能を高めていきます。

救急

- ・救急体制として、現場到着3分を目標に救急隊5隊を配置するとともに救急無線の整備をはかります。医療体制も、重症救急患者用病床8床を確保します。

公害防止

- ・公害の発生源が、過密かつ広域に立地していることから状況の把握、監視のための施設、人員の整備充実をはかり、科学的な施策から処理を行ないます。それには、分析センターの設置、自動車排ガスの監視体制、水質発生源監視モニター、発生源企業における公害測定器のテレメーター化による、常時監視、デジタル騒音計による環境常時監視を行ないます。

交通事故防止

- ・バイパスなどの建設により通過輸送交通を市内に入れず生活関連道路の安全をはかります。又信号機等の安全施設、交通規制、自家用車を使わなくても便利な交通手段がとれるよう、鉄道、バス等の大量輸送網の拡充を関係機関に要請します。

火災防止

- ・建物の高層化、危険物類の増加により、はしご車、化学車等の高度の技術を要する特殊消防車の増強を行ないます。又重化学工場、石油類の危険物施設については、自衛消防の協力体制を確立していきます。なお、震災火災対策として100トン防火水槽60基及び可搬式動力ポンプの整備をすすめます。

災害防止

- ・河川に対しては、上流部に対する砂防指定区域の拡大、51年集中豪雨にみられる、沼川水系の復旧整備、下水道事業による都市排水網整備、吉原地区東名以北の河川新設、山間地河川への自動雨量計や水位計設置による観測体制の強化をはかります。地震については、都市施設の安全点検、地震に関する情報収集、建物の不燃化、耐震性の促進、一般住宅の耐震性強化のための資金融資、幹せん制度の確立、住宅密集地等の再開発、移転の促進、避難ルート場所の確保、非常食、飲料水等の確保、他機関への応援体制の確立をはかります。

快適で住みよい豊かなまちをつくるために!!



住宅

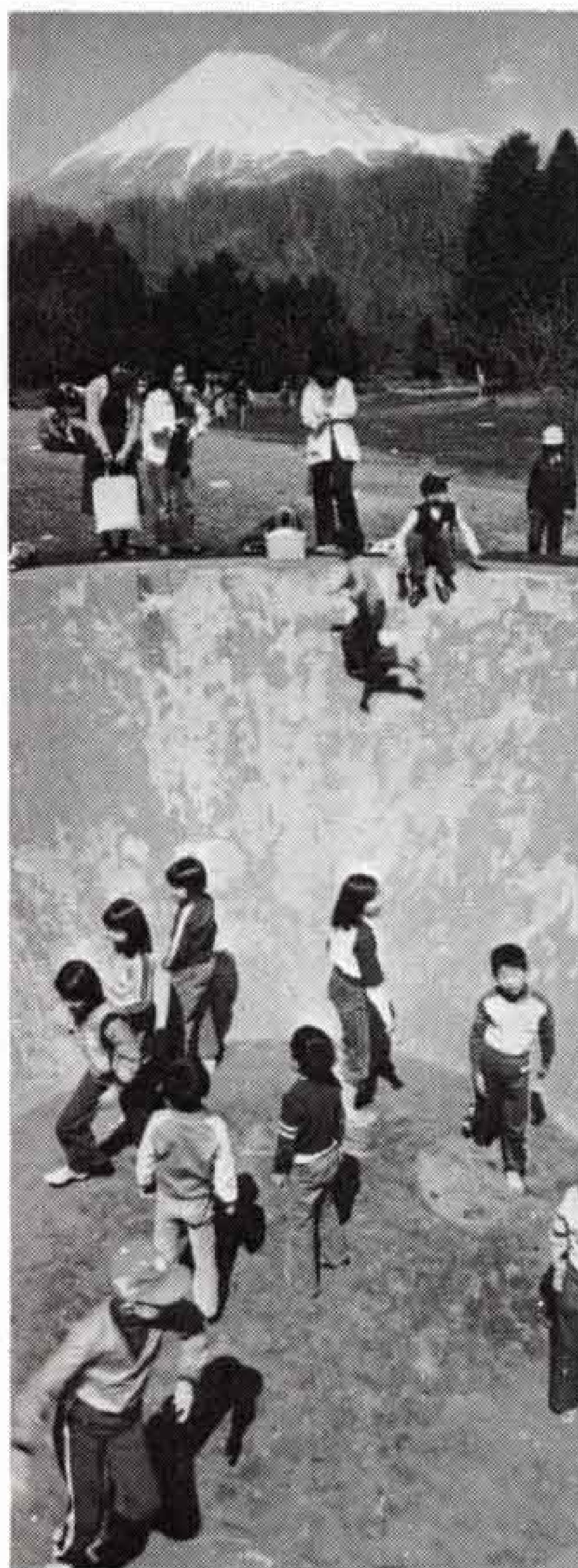
- ・建設資金融資制度の充実をはかりながらマイホームづくりをすすめるとともに質のよい市営住宅を年平均100戸建設をします。又、震災等が叫ばれている折、ハウスクター制度の充実をはかります。

一般市道

- ・市民の通勤、通学等生活道路を優先的に整備するため、舗装率49パーセントを70パーセントまで高めるため約238キロメートルの舗装を、又、改良率29パーセントを40パーセントまでに高めるため約125キロメートルの新設改良をすすめます。

都市計画道路

- ・国道1号線及び大月線バイパスの早期完成を促進しながら、街路の整備率40パーセントを60パーセントまで高めるため新設改良約31キロメートル、舗装約38キロメートルの整備をすすめます。又、幹線街路の交差点は可能な限り立体交差にします。



区画整理

- ・道路、公園など適正な市街地空間を確保するとともに、都市機能の高度化と合理的配置をはかります。市施行による200haの土地区画整理を行います。

上水道

- ・昭和60年の給水人口21万人を対象に、1人1日最大使用量600ℓを供給するに必要な水源を確保する。又水量、水圧不足地区の解消と給水区域の拡大に対応して、第4次、5次拡張事業を実施します。

下水道

- ・市街化区域内のおおむね1,540haに公共下水道を普及させ普及率を5パーセントから24パーセントに高めます。公共下水道地域外の家
庭汚水は簡易下水路をつくり、排除につとめ、浸水区域の解消には、都市下水路を整備します。

清掃（ごみ、し尿処理）

- ・家庭ごみは、完全に処理するとともに、ゴミの減量運動並びに再利用及び分別収集の徹底をはかる。又し尿は完全処理をはかるため、新たに浄化槽汚泥処理をふまえた処理施設（処分能力95kl/日）を整備します。

火葬場

- ・現在の火葬場は、施設の老朽化や周辺への人家の密集等により、早急な施設整備をします。

公園緑地

- ・市民1人当たり4.5㎡都市公園スペースを確保するため、約67.2ヘクタールの都市公園を整備します。

みどりと自然

- ・富士愛鷹山の緑と自然をまもり、幹線道路の築造と並行して、市民30人当たり1本の街路樹をうえ緑のネットワークをつくります。公共施設には、緑地を十分確保し、校庭には芝張りを全校に出来るようにします。

地下水の保全

- ・地下水の塩水化をふせぎ、地下水の恒久的保全をはかるため、地下水の採取量を適正揚水量80万m³/日の範囲にとどめるべく、代替水源として、東駿河湾工業用水道への転換を推進します。



こどもや老人等の生活を守るために……



こどもと母親

- ・児童の安全な遊び場を確保するため児童遊園、遊び場などを20ヵ所新設します。保育園は7園新たに確保します。又既設の7園の改築、移転をすすめこのうち3園に軽度の心身障害児特殊保育室を併設します。母子世帯の福祉向上をはかるために福祉行政センターに母子福祉施設を併設します。

老人

- ・ひとりぐらしの老人の相談に応ずるため福祉電話を設置します。又老人クラブの活動を助長し、簡易老人憩の家の設置に努力します。健康増進のため、老人健康調査、健康相談、老人医療費助成の給付につとめるとともに生きがいを高める施策を積極的にすすめます。

心身障害児

- ・障害者の精神的、経済的負担を軽くするため公的扶助の充実をはかるとともに施設を整備します。盲、ろうあ者には点字広報などのほか点字図書館もつくります。

低所得者

- ・低所得者の自立促進をはかるため各種相談機能の強化と援護貸付制度の充実をはかります。

福祉行政センター

- ・福祉事務所と福祉団体との一体的活動ができる福祉行政センター建設をすすめます。

勤労者

- ・勤労者に良好な居住環境を保障するため住宅建設資金融資制度を充実するとともに公園、社会教育、社会体育施設の拡充整備をおこないます。又勤労者福祉資金融資制度を新設します。

消費者

- ・公設卸売市場の効果的運営と消費生活に関する情報の提供や学習会等を行ないます。

教育や文化の水準を高めるために……

幼児教育

- ・幼児全員が入園できるよう幼稚園5園を新設し、又、私立幼稚園保護者の経済的負担を軽くします。

義務教育

- ・児童・生徒の増加に対応し小学校5校、中学校3校の新設をはかり各学校の校舎は、すべて鉄筋化し、プールと屋内運動場をつくります。又、増加する生徒の教室、給食施設の整備、教員の研修、教材の研究も行ないます。

特殊教育

- ・精神薄弱児養護学校の新設、難聴児学級を開設するとともに、在宅心身障害児への講師派遣制度の拡充など特殊教育の充実をはかります。

高次教育

- ・市立商業高校の武道館の建設をすすめるとともに高次教育機能（高校・短大・大学）の誘導につとめます。

社会教育

- ・地域住民の社会教育活動の場としておおむね小学校区を対象に、地区公民館11館の設置をすすめるとともに総合社会教育センターとしての中央公民館の建設をすすめます。

社会体育

- ・市民の健康増進をはかるため、誰れでも手軽に利用できるスポーツ・レクリエーション施設として運動広場・運動コートを整備をすすめながら学校施設の開放をはかります。

芸術文化

- ・埋蔵文化財、民族資料等の収集保存と展示を行なう郷土資料館の建設を行ない、又、市民の芸術文化に対する欲求を満たすことの出来る場（総合社会文化会館）を整備します。



豊かな市民生活を支える産業経済の振興をはかるために：



商業

- ・商業機能を高めるため、都市整備事業と併行して、商店街の再編整備をして共同化、協業化などの経営合理化をすすめます。制度資金融資事業を積極的にすすめます。

工業

- ・設備近代化資金を活用し、中小工業の共同化、協業化、集団化をすすめ経営の近代化につとめます。不況に対しては新たな製品、技術の開発向上を促進させ受注の拡大につとめます。又企業責任による産業廃棄物の処理、公害の排除につとめます。

農業

- ・高能率農業に必要な、農業構造改善事業や土地改良事業を、計画的に導入し、生産環境を整備し、経営の機械化、合理化をすすめます。又農業技術の開発、普及をすすめ、専業農家の定着と農業後継者の確保、育成につとめます。

林業

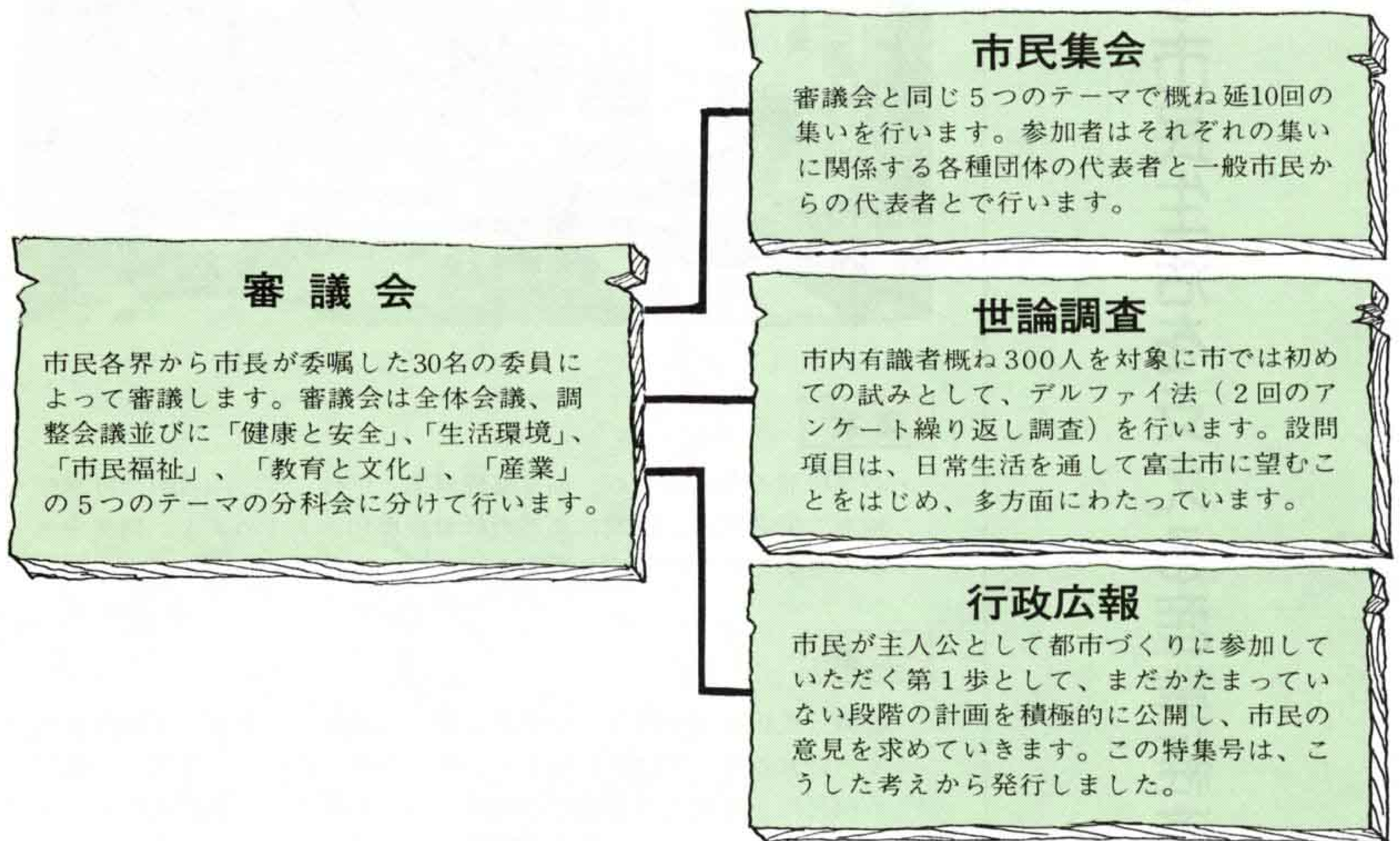
- ・林道の整備と再造林事業を計画的にすすめ、林業の近代化と生産性の向上をはかり経営に対しても地域林業の組織化と共同化をすすめ生産体制などの強化をはかります。

漁業

- ・漁業経営を合理化し、生産性の向上をはかるため、漁業融資対策をすすめ沿岸漁業の振興をはかります。又海中障害物の除去事業をすすめ、漁業環境の保全と浄化につとめます。

計画案への市民参加

この新総合計画草案が、ほんとうに市民のためのまちづくりの計画となるために、次のような方法で「計画草案への市民参加」を行います。



論文・作文募集

ふるって応募してください

明日の富士市を築くための計画に関する論文・作文を次により募集します。

- **テーマ** テーマは自由としますが、望ましい富士市の姿やこれを実現するための方法を表現したもの。
- **応募資格** 市内の中学校、高等学校の生徒及び一般市民。
- **応募方法** いずれも400字詰原稿用紙で、中学生は7枚以内、高校生と一般市民は10枚以内。
作品には住所（学校名・学年）氏名・年齢・職業を明記してください。
- **作品の送り先と切**
〒417 富士市永田61の1

市教育委員会事務局
(学校教育課)

8月31日までに必着のこと

- **審査の発表・利用**
入選作は、市の広報ふじを通じて公表、なお、市の各種印刷物などをつくる場合に使用します。
- **入賞作品** 中学校、高等学校一般市民それぞれ入選作を選び賞状及び記念品をさしあげます。なお応募者全員に参加賞をさしあげます。
- **その他** 著作権は富士市のものとし、応募作品はお返ししません。